

# 十 赤十字かごしま

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

発行所  
日本赤十字社鹿児島県支部  
〒890-0064  
鹿児島市鴨池新町1番5号  
TEL 099-252-0600

第186号 平成23年4月発行

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性



**人間を救うのは、人間だ。**  
赤十字活動へのご協力をお願いします。

## 5月は赤十字運動月間です。

日本赤十字社は、5月1日から「赤十字運動月間」として全国キャンペーンを実施します。

月間中は、広く赤十字思想の普及と活動紹介等に努めるとともに、活動資金のご協力と「赤十字社員」の拡大をお願いしています。

**赤十字の活動を資金で支える「社員」にご加入をお願いします。**

## 社員とは？

赤十字社の人道的な（世界の平和と人類の福祉増進）活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力をしていただく方のことです。日本赤十字社は、皆様から託されたこの資金で運営している団体です。

## 奄美大島大雨災害 ～日赤の災害救護活動～

平成22年10月20日（水）に記録的な豪雨に見舞われた鹿児島県奄美大島では、土砂崩れや床上・床下浸水により、各所で通行止め、電話関係の一部不通、断水となる等、大きな被害が発生しました。

日本赤十字社鹿児島県支部では、10月21日から医師、看護師などからなる救護班2個班を奄美大島に向け派遣し、奄美市住用町、龍郷町の避難所等での診療活動や輸血用血液製剤、救護物資の輸送等を行いました。

また、発生直後から地元の地域赤十字奉仕団による非常炊き出しが各地で実施されたほか、県内はもとより日本全国から多額の災害義援金が寄せられ、すべて被災者のもとへ配分されました。

（平成23年3月10日現在の日赤扱い分義援金172,528,203円）皆さまの温かいご協力ありがとうございました。

なお、今回の災害では、救護班や救護物資等の輸送の一部を鹿児島県・自衛隊及び各関係機関にご協力いただき活動できましたことに感謝申し上げます。



▲ 鹿屋の自衛隊機搭乗前



▶ 住用での巡回診療



▲ 医師の診察風景

# そこに、守りたい命

一刻を争う災害発生時には、直ちに被災地へ向かいます。病気で苦しんでいる人たちがいれば、す。日本赤十字社では、「そこに、守りたい命がある」という想いのもとに9つの事業を展開しています。

▼奄美地方大雨災害での救護の様子



## 万が一の災害に備えて

### 国内災害救護

- ◎赤十字病院を中心とする医師・看護師等で構成される医療救護班（8班）を常備し、被災地に派遣します。
- ◎災害救援物資を速やかに配布できるよう、支部及び県下各地の37常備地区（市町村社会福祉協議会等）に毛布5,000枚、ブルーシート4,000枚等を備蓄しています。



▲倉庫に備蓄された救援物資



緊急セット



見舞品セット

## 世界的ネットワークを活かして

### 国際活動

- ◎世界186カ国の国際赤十字の一員として災害や紛争で被害を受けた人々の緊急支援や、保健衛生事業等の国際開発協力援助を行っています。



▲海外における医療救護（ハイチ）

## とっさの手当が命を救う

### 救急法等の講習

- ◎緊急時の手当や事故防止に必要な知識、技術を学ぶ「救急法」をはじめ、高齢者の介護が学べる「健康生活支援講習」、「水上安全法」、「幼児安全法」などの講習を行っています。

▼心肺蘇生法を学ぶ（吹上浜砂の祭典）



▲水の事故の救助について学ぶ（親子DEチャレンジ・水辺のレスキュー）

# がある。



に駆けつけます。

## 赤十字活動を支える大きな力

### 赤十字奉仕団活動

◎各市町村で組織している地域赤十字奉仕団や専門知識、技術を持つ特殊赤十字奉仕団など75団28,000人が、広域的なネットワークを活かし、災害時の炊き出しや応急手当などのボランティア活動を行っています。



▲地域赤十字奉仕団による非常炊き出し訓練(曾於市末吉分区)

## 次代を担う子どもに思いやりの心を

### 青少年赤十字

- ◎幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校あわせて約450の加盟校では、児童・生徒が「気づき・考え・実行する」を態度目標として地域でのボランティア活動を実践しながら人を思いやるやさしい心を育てています。
- ◎海外の青少年赤十字メンバーとの交流を通じ、広く国際理解、親善を深めています。
- ◎世界の開発途上国の子どもたちを支援するため、1円玉募金や海外たすけあい募金活動を行っています。



▲国際交流事業の様子



▲トレセンで発表する児童

## 人の痛みにやさしく寄り添う看護を目指して

### 看護師養成

- ◎福岡県の日本赤十字九州国際看護大学では、赤十字の理念を基調とし、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師を養成しています。



▲実習中の看護学生(日本赤十字九州国際看護大学)



# 鹿児島県赤十字血液センター



## 施設の案内

### 「いのちを救う献血へのご協力、ありがとうございました」

2010年鹿児島県では72,841人の方に献血に御協力いただき、たくさんの命を救うことができました。本当にありがとうございました。

人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることができません。さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできませんので、輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず皆様の献血が必要となります。

鹿児島県では、少子高齢化により血液の需要が増加しております。これからも安心して患者さんが輸血を受けられるよう、皆様の献血へのご協力をお願いします。



### 献血施設

#### 「献血プラザかもいけクロス」



受付時間  
AM9:00~12:00  
(成分献血 11:30)  
PM1:00~5:00  
(成分献血 4:30)

受付日 月曜日~土曜日(日・祝日休み)  
駐車場 大駐車場有

#### 「献血ルーム天文館」



受付時間  
AM9:30~13:00  
(成分献血 12:00)  
PM2:00~5:30  
(成分献血 5:00)

駐車場 中央公園地下セラ602(駐車券配布)  
リパティ立体駐車場(駐車券配布)



## ホリスティックヘルスプラザかごしまオープン

鹿児島県赤十字血液センターでは、地域に密着し県民に愛される新しい地域センターを目指し、「心と身体と生命の再生の森」をテーマ(コンセプト)に全人的な健康づくりと献血啓発を目的としたホリスティックヘルスアカデミーの開催、献血ボランティアの育成、キッズ献血体験学習、献血・輸血情報の提供等を行う施設として平成22年11月27日(土)に「ホリスティックヘルスプラザかごしま」をオープンいたしました。



### 【ホリスティックヘルスプラザかごしま】入口 【リラックス&クロスゾーン(RCゾーン)】

献血を応援していただく「けんけつ応援隊」をはじめとするボランティアスタッフ、及び赤十字会館ご利用の皆様ゆったりとした時間と空間でリラックスできるようなスペースとなっております。



### 【アカデミー&クロスゾーン(ACゾーン)】

ホリスティックヘルスアカデミー・ヨーガ・アロマ・リフレクソロジー講座及び各種研修会の開催。



### 【献血・輸血・全人的健康ライブラリー】

鹿児島大学医学部生の研修及び職場体験学習の受け入れを行います。

# 「放射線とのおつきあい」

鹿児島赤十字病院 放射線課課長 吉見 公作



世界中の人々が受けている放射線の大部分は、自然放射線です。私達は宇宙や大地、食物など自然界からいろいろななかたちで自然放射線を受けています。放射線は、人間の五感では感じることはできません。一方、人工放射線源から受ける線量の大部分は医療放射線によるものです。この性質を最初に利用したのがX線検査です。

放射線を被曝した人すべての人に、がんや遺伝的影響が発生するわけではありません。放射線の人体への影響は、受けた線量の大小や、放射線が全身にあたったのか、または、一度に大量にあたったのか、時間をかけてあたったのか、などによって異なります。もうひとつ、放射線を受けた人自身にあらわれる影響以外に、その子や孫への影響を多くの人々が心配しています。原爆被爆者の半世紀にわたる孫までの調査では、今のところ遺伝的影響は認められていないとのこと。通常の放射線検査では発ガンの危険性は十分に小さく、一般の事象のリスク（喫煙・交通事故）に比べて小さいことが解っています。

身体には細胞を修復したり再生する能力があり、放射線による影響は蓄積するものではありません。放射線による刺激作用は「放射線ホルミシス」と呼ばれています。弱い放射線を微量に受けることで細胞が刺激を受け、身体の細胞を活性化させ、毛細血管を拡張し、新陳代謝の向上、免疫力や自然治癒力を高める効果をもたらします。身体に良いとされるラジウム温泉にも微量の放射線（アルファ線）が含まれています。普通の入浴では、温泉に含まれるラドン・ラジウムによって特別影響を受けることはありません。

医学領域で利用される放射線は、診断および治療に用いられています。病気の診断や、治療をすすめるためには、X線検査は必要かつ大事な検査で、患者様のいろいろな体の情報を与えてくれます。放射線によるがん治療は、大量の放射線によってがん細胞を死滅させて腫瘍を小さくする方法です。手術がむずかしい場所にできたがんや、手術をすればその機能が失われてしまう場所にできたがん、薬が効きにくいがんなどで、放射線治療を選択します。

医療では、患者様の利益が十分大きいと予想される場合のみに放射線を使用しています。安全性もしっかり管理されていますので、放射線検査は安心してお受け下さい。



## 特別養護老人ホーム錦江園

錦江園は、鹿児島のシンボル「桜島」を眼前に望み、波静かな「錦江湾」に抱かれた自然豊かな場所であり、鹿児島市南部の平川町、JR指宿枕崎線、国道226号線沿いの錦江湾の岬に位置しております。

錦江園は、三方を海、周りは緑の木立に囲まれ、身近に小鳥のさえずりの聞こえる静かな環境にあります。その地に、昭和49年6月、日本赤十字社としては最初の特別養護老人ホーム錦江園が開設され、現在は特別養護老人ホーム70名、短期入所生活介護（ショートステイ）2名の定員で運営しています。

利用者の皆様方に満足していただける施設をめざし、職員の資質向上に努めるとともに、地域に愛され開かれた施設としてボランティアや実習生等の受け入れ、園内行事への地域の方々や家族等の参加など地域の方々との交流を深めています。

また、開設以来36年が経過した現在の施設を、近々建て直すべく取り組んでいます。



▼計画的な口腔ケアへの取り組み（嚥下内視鏡検査）



# 赤十字活動を支える赤十字社員

赤十字の活動は、県民のみなさまによって支えられています。

みなさまからお寄せいただいた社費(500円)は次のように使われます。



◎日本赤十字社鹿児島県支部においては、県内各市町村の日赤窓口（社会福祉協議会等）を通じて、町内会・自治会等のご協力のもと赤十字の社員募集を行っております。

## 社会貢献活動をお考えの企業さまへのご案内

日本赤十字社の活動は、赤十字の趣旨にご賛同いただいた皆様からお寄せいただいた浄財で支えられています。人間のいのちと健康、尊厳を守る赤十字の活動に、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### ～企業さまによるご協力例～

- 創立記念事業としての寄付
- チャリティイベントの収益金を寄付
- 売上金等の一部を寄付
- 従業員のみなさまや店舗利用者さまによる募金

※ご希望の場合は、募金箱を貸出いたします。



### ○寄付金付き自動販売機の設置

コーヒー、ジュースなどお買い上げのたびに、一定額が赤十字の寄付金となります。事業所等での設置についてぜひご検討ください。



売上金の一部が赤十字への寄付金となります。

設置者の社会貢献活動としてアピールできます。

設置者様のご負担はございません。

### ～法人社員証(アクリル製ディスプレイパネル)～



日本赤十字社鹿児島県支部に事業資金のご協力があった法人・団体様は、社会貢献PR等にご活用いただくため、左掲のご協力を証する「社員証(会員証)」をご希望により贈呈させていただきます。(A6サイズ105mm×148mm)

※詳しくは日赤鹿児島県支部までお問い合わせ願います。

### ～ご自身や故人の思いを赤十字へ～ 各種寄付金を申し受けます。

ご自分や故人の財産の一部、或いは「香典返し」に代えてご香典の一部を広く社会に役立てたいとお考えの方へ、当県支部では、遺産・相続財産の寄付や香典返しによる寄付を申し受けます。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。詳しくは日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせください。

## 日本赤十字社鹿児島県支部 組織振興課

☎ 099-252-0600

ホームページ <http://www.minc.ne.jp/nisseki/>

代表メール [shibu-rc@po.minc.ne.jp](mailto:shibu-rc@po.minc.ne.jp)

日赤鹿児島県支部

検索